

第7回 やまねこ博覧会 開催報告

開催期間：平成30年10月20日(土), 21日(日)

開催場所：京都市動物園



正面エントランス



第7回 案内ポスター

京都市動物園では、絶滅の危機に瀕しているツシマヤマネコの現状や、その保全に関する取組をより深く知っていただくためのイベント「やまねこ博覧会」(第7回目)を開催しました。

来園者数：20日(土)4,998人
21日(日)7,583人

サクラちゃんと一緒に 10:00/11:00/14:00/15:00

両日ともに、正面エントランスレクチャールームにて、京都市動物園のツシマヤマネコのマスコットキャラクター「サクラちゃん」との記念撮影イベントを行いました。

10月20日(土)

- ①10:00～ 参加者：30組
- ②11:00～ 参加者：34組
- ③14:00～ 参加者：41組
- ④15:00～ 参加者：41組

10月21日(日)

- ①10:00～ 参加者：43組
- ②11:00～ 参加者：50組
- ③14:00～ 参加者：51組
- ④15:00～ 参加者：39組



1日目：10月20日（土）

やまねこ紙芝居劇場 13:15～13:45



1日目の午後、正面エントランス・レクチャールームでは、児童文学作家のキム・ファンさんによる紙芝居の読み聞かせイベント「やまねこ紙芝居劇場」が行われました。今回の紙芝居は「ツシマヤマネコのシマ」、「どうぶつどっちがどっち?」、「カワセミのあおとあか」の3本立てとなっており、クイズや会話を交えながら子どもたちが楽しく参加できるとともに、絶滅の危機にあるツシマヤマネコの現状をわかりやすく伝えていただきました。

参加人数：85名



2日目：10月21日（日）

やまねこ紙芝居劇場 11:30～12:00



2日目は朝から晴天に恵まれ、芝生広場にて紙芝居劇場を行いました。参加人数：110名

参加協力団体によるブース出展 9:00～16:00



両日ともに、「対馬市役所」、「一般社団法人MIT」、「NPO法人どうぶつたちの病院」、「NPO法人ツシマヤマネコを守る会」、「絵本作家キムファンさん」によるツシマヤマネコの保全に関するブース出展が行われました。日頃からツシマヤマネコの保全に熱心に取り組まれている出展者の皆さんと来園者の皆さんが直接交流することのできる貴重な機会となっています。また、書籍やパネル、色々なグッズがツシマヤマネコの魅力を伝えます。



やまねこふわふわ



両日ともに、ツシマヤマネコのエアークイズ「やまねこふわふわ」が登場しました。
 参加人数：10月20日（土）570名、10月21日（日）453名

やまねこ講演会 13:30～15:10

ツシマヤマネコのトレーニングについて（京都市動物園 種の保存展示課 柳本 博）



【ツシマヤマネコは何色か？】～ツシマヤマネコに導かれて～（一般社団法人MIT 島デザイナー 吉野 由起子）



京都市動物園での保全の取り組み（京都市動物園 種の保存展示課 飼育展示・動物管理係長 長尾充徳）



「対馬ってどんなところ？」（対馬市市役所 吉田裕司）



2日目の午後に開催した「やまねこ講演会」では、対馬で保全活動に携わっておられる方々や当園の飼育担当から、野生ツシマヤマネコの現状や魅力、飼育下での繁殖やハズバンダリートレーニングの現在に関する話題提供がありました。レクチャールームが満員になるほど多くの皆さんに御参加いただき、ツシマヤマネコへの関心の高さに、対馬からの講演者の方々も感動しておられました。また、講演ごとに参加者の皆さんからたくさんの感想や質問が寄せられ、良い交流の機会となりました。

参加人数：95名